



# 新成人229名 新たなる決意を胸に 晴れやかな門出

## 成人式を終えて



伊東 丈訓 (谷台)

「成人式」……。今まで自分には無縁のように思えたその言葉がいつのまにか自分たちの行事として行われ、時の流れの早さにあらためて驚きを感じさせられます。近年、全国の成人式において新成人による暴動が多数起

こつていたのをテレビなどで見たことがあったため、自分たちの式典においてもその様なことが無いかと多少不安を感じていましたが、全くそのような事は無く、和やかな中にも緊張感のある素晴らしい式典になったことを今、大変うれしく思っています。そして、今回は、新成人が自らの手によって企画し進行していくという初の試みだったため心配もありましたが、逆にそれがみんなの協調性を高めることになったようで、その成果が式典を盛り上げたように思います。

これから成人として成すべきことや責任の重さがありませんが、いまそれを考えてみた時何か自分が変わったのかと聞かれても、なかなか実感がわかないのが本音です。しかしながら、社会において、既に成人として認められる以上、社会人として恥ずかしくない行動をとることが大切だと思います。

今、自分にできる事、それは自己の確立と人に対する礼儀ではないかと考えます。周りの意見に惑わされること無

く、きちんと自分の意思を持ち、自分のやるべき事を一步一步着実に進めていき、そして他人に迷惑をかけずに自分で判断して行動していければと思います。今はまだ学生として自由に生活していますが、これからは大人の仲間入りをし、厳しい現代社会の中で一人の社会人としてその人生を歩んでいくこととなります。そしてこの先大きな壁にあたることもあるとは思いますが、自分に対する試練だと思いい、決して屈することなく、今できることを精一杯努力し、いつか自分の夢を実現させていければと思います。

## 成人式を迎えて



熱田 沙織 (栗山南部1)

月日が経つのは早いもので、私がこの町に生を受けて20年が経過しました。家族を始め、多くの人々に祝福されながら、素晴らしい成人式を迎えることができて心よりうれしく思います。

さて、この成人式を境に社会では「大人」として扱われるわけですが、まだ学生の身としては正直、実感がわきません。「一人前の人間として見られたい」という自立心や独立心はあるものの、経済的な面や様々なことで、周囲の大人の援助なしでは生活できないのが現状です。時にはそういった理想と現実の狭間で葛藤することもあります。

しかし、この20代は、発達の段階で言えば青年期に当たり、growthの確立といった大きな課題を成し遂げるときでもあるのです。自分はどういう人間で、どのように生きたいかを定め、自我の統合をする。こうといった精神面の成長がこれからの人生において大きな基盤となるのではないのでしょうか。確かに私はまだ未熟ではあるけれど、この20代で少しずつ成長していきたいと考えています。

今日の社会は、低迷する日本経済や不安定な雇用状況など困難な時代ではありますが、その中で自分の位置を見出せたいように、日々努力していきたいと思えます。

